

### 決算審査特別委員会

○第三十七号議案 平成二十三年度島原市一般会計歳入歳出決算

九月定例会で閉会中の継続審査として決算審査特別委員会に付託されていた第三十七号議案について、十月十一日、十二日の二日間にわたり審査を行いました。

歳入決算額は二百二十八億二千九百八十三万四千百十七円で、一般財源が六十二・七％、特定財源が三十七・三％の割合となつています。また、自主財源と依存財源で見ると、自主財源が三十一・一％、依存財源が六十八・九％となっています。

歳出決算額は二百二十四億七千九百二十五万四千六百八十八円で、性質別では消費的経費が六十二・二％、投資的経費が十六・七％、その他の経費が二十三・一％となっています。

【質疑】 体育施設指定管理料について、有明プールの指定管理料は幾らか。また、民間への指定管理を行った結果、運営費等の削減効果はどうか。

【答弁】 有明プールの指定管理料は千四百二十万八千円である。二十二年度から指定管理を行っており、導入前の運営費が約二千八十万円であったので、節減が図られていると認識している。

【質疑】 緊急雇用創出事業全般について、

島原市の観光事業等へどのような効果があったと考えているのか。

【答弁】 二十一年度から緊急雇用創出事業を活用し、三年間で六百人程度の雇用ができたことは大きな意義があると思つている。特に観光分野については多くの事業を展開し、その中でも島原城での接遇や、島原の観光地を回つていく事業、そして、現在も展開している甲冑製作などの事業は、城下町島原にとつては大きな効果があったと考えている。

【質疑】 学校の備品購入は、文部科学省の指導で品目や数量についての決まりがあるのか、それとも自治体の判断なのか。

【答弁】 パソコンの活用については、文部科学省から指導があつており、その中で一教室に何台という基準があり、それに応じて対応している。

このほか、有明庁舎本館耐震補強工事、防犯灯用LED蛍光管交換業務委託料、ありあけ荘の運営状況、公衆便所清掃業務委託料、島原病院の運営状況、生活保護費における医療扶助費、有害鳥獣駆除の実績、島原市企業団地適地調査の進捗状況、島原城の耐震診断調査結果、道路工事の実績、松平文庫マイクロフィルム化事業、市税の滞納状況等について質疑がなされ、採決の結果、認定することに決定しました。

### 十一月臨時会の概要

十一月臨時会は、十一月十九日に開会し、第四十八号議案 平成二十四年度島原市一般会計補正予算（第五号）が提案され、委員会付託を省略して、原案どおり可決しました。

補正予算の内容は、国の経済危機対応・地域活性化予備費による、県営事業の三会原第三地区の土地基盤整備事業及び宇土山地区の耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業に係る地元負担金、六月に発生した梅雨前線豪雨による島原城跡公園石垣復旧に係る経費、防犯対策として修理が必要となつている箇所への防犯灯設置に伴う補正予算で、歳入歳出それぞれ一億二千八百八十三万円を追加し、予算の総額を二百二十五億五千七百七十九万八千円とするものです。

議案上程、説明、質疑の後、委員会付託を省略して、原案どおり可決しました。

### 議会だより「音声版・点字版」のご案内

議会の活動状況を市民の皆さんにお伝えし、身近に感じていただくため、定例会ごとに年四回「島原市議会だより」を発行し、市内全世帯に配布しています。

また、目の不自由な方向けに、島原声のボランティア「ゆずの会」の皆さんのご協力により、音声版を発行していただいています。なお、今号から島原点訳サークル「がんばっ点！」の皆さんのご協力により、点字版を発行できることとなりました。

音声版、点字版をご希望の方は、福祉保健総務グループ福祉班（電話六三二一一一一内線二七三）へお申し出ください。